

いきいきゼミナール

健康
と
医療

健康と医療についてゲストに語っていただくコーナーです

テーマ「脳卒中の手がかりとなる症状」ゲスト 札幌宮の沢脳神経外科病院 井上 道夫 医師



側の手足にまひやしびれが起こる、ろれつが回らない、言葉が出ない、他人の言うことが理解しにくい、歩けない、ふらふらする、物が2つに見える、視野が大きく欠ける、今まで経験したことのない激しい頭痛がするといった症状です。

—脳卒中について教えてください。日本人の死因の第4位を占める脳卒中。脳の血管が破れたり(脳出血、くも膜下出血)、詰まる(脳梗塞)ことで、脳が障害を受ける病気です。後遺症も深刻で、高齢者の寝たきりや介護が必要になる原因で最も多いものです。血管は加齢で傷みやすい臓器なので、基本的には年を取るほどかかりやすくなる疾患といえます。

—自分や周囲の人にそれらの症状が出た時はどうすればいいですか。脳卒中は前兆がなく、ある日突然起こり、一刻も早い治療が必要な病気です。脳卒

す。「症状は大したことがないので、急がなくてもいい」と自己判断し、受診を翌日に持ち越してしまったため完全に手遅れになってしまうケースも少なくありません。とにかく「速やかに」です。脳卒中の症状は自然によくなることはほとんどなく、むしろ数日のうちに進行することが多いのです。医療が進行しても脳卒中を完全に治すのは難しいのですが、早い段階で適切な診断・治療につなげれば、点滴治療やリハビリテーションを超早期から行うことにより、後遺症を最小限に抑えることができます。もちろん、脳卒中の症状は手足のまひと言葉の障害だけでなく、先ほど語ったように多岐にわたり判断が難しいことも多いので、脳卒中を疑ったら医療機関に直接連

絡を取るのも一つの手です。脳卒中の専門的な治療を行う医療機関は、各都道府県がリストを作成し、ホームページなどで公表しています。こうした資料にも目を通し、自分が暮らす地域ではどこの医療機関がその役割を担っているのか、24時間体制で相談や受け入れにあたっているかなどについて、健康な時に前もって知っておくことが大切です。また、札幌市では24時間365日、市民からの救急医療相談に看護師が対応する電話による相談窓口「救急安心センター さっぽろ」を運営しています。急に具合が悪くなった時など、救急車を呼んだ方がいいのか、様子を見た方がいいのか判断に迷ったら相談してみるとよいでしょう。

病院
訪問

札幌宮の沢脳神経外科病院



▲待合室

主に脳血管障害など脳神経外科領域を診療し、医療を提供しています。24時間救急患者に対応し、脊椎脊髄の診療や、主にめまいの診療を行う神経耳鼻科などの充実を図っています。



住所/札幌市西区西町南20丁目1-30
電話番号/011-664-7111
診療時間/月~金曜 9:00~12:00
13:00~17:00
土 曜 9:00~12:00
休 診 日/日曜・祝日
院 長/松村 茂樹

企画制作/北海道新聞社営業局